

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	国際理解・外国人児童生徒教育
対象	国際理解・外国人児童生徒教育サブプログラム

受験番号					

問 1 次の用語の中から3つを選び、それぞれについて日本語で説明せよ。( )の中に選択した用語を記入した上で、解答せよ。

エスノセントリズム    グローバル・シティズンシップ    「JSL カリキュラム」    ソーシャル・ジャスティス  
 特別の教育課程としての日本語指導    日系南米人の子ども    BICS と CALP (カミンズ)    複言語主義  
 文化多様性条約    文化的ハイブリディティ

【解答欄】

<解答のポイント>

用語の意味を定義、具体例、課題等をあげて、正確に説明している。

1 ( )

2 ( )

3 ( )

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	国際理解・多文化共生教育
対象	国際理解・外国人児童生徒教育サブプログラム

受験番号					

問2 次の(1)～(3)の設問の中から、1つを選び、日本語で解答せよ。

- (1) 多文化共生教育における当事者性について、あなたの考えを論じよ。
- (2) 国際理解教育における参加型学習の意義と課題について、論じよ。
- (3) 外国人児童生徒へのことばの教育において、言語とアイデンティティの関係をどのように考慮すべきかを論じよ。また、外国人児童生徒教育を担当する立場になった場合、あなたはどのような言語教育活動を行いたいのか、具体的なアイデアを述べよ。

【解答欄】

選択した設問番号 (            )

<出題の意図>

- (1) 多文化共生教育における当事者性について、基本的な知識や概念の意味と、社会や学校における実際の状況をどの程度理解し、検討することができるかを把握するため。
- (2) 国際理解教育の理論と実践について、基本的な知識や概念の意味、教育の方法等について、どの程度理解できているか。また、参加型学習を例として、教育実践上の意義と課題を具体的かつ論理的に述べることができているか、把握するため。
- (3) 外国人児童生徒へのことばの教育における言語とアイデンティティの関係について、基本的な理論や概念の意味を踏まえて、どの程度、論理的に述べるできているか。外国人児童生徒へのことばの教育実践について、具体的なイメージをもって考えることができているか、把握するため。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	国際理解・多文化共生教育
対象	国際理解・外国人児童生徒教育サブプログラム

受験番号					

問3 教職大学院入学後のあなたの研究計画について、日本語で記述せよ。先行研究について必ず言及すること。

【解答欄】

<出題の意図>

国際理解・外国人児童生徒教育に関して、本サブプログラムで探究する自身の研究テーマを、先行研究を踏まえた上で設定し、研究の目的及び方法について、具体的にどの程度検討することができるか、把握するため。